

| | | |
|-----------------|--|--|
| <p>肢体不自由の理解</p> | <p>筑波大学特別支援教育連携推進グループ 附属桐が丘特別支援学校 竹田 恵</p> | <p>7月26日(月) 15:00~16:00</p> |
|-----------------|--|--|

副題:「動きにくさのある子どもの学習上の困難と学びやすさの工夫について」

講義内容:

今、肢体不自由の子どもたちの学ぶ場は、特別支援学校、特別支援学級や通常の学校等、大きく広がっています。

肢体不自由の子どもたちは、さまざまな原因から身体に動かしにくさが生じることで、立つ・座る・移動する、食べる、書くなどの日常的な動作がスムーズに出来なかったり、物事に取り組むことに時間がかかったりします。また、動きにくさが手足や身体の動作だけではなく、学習上の様々な場面において影響を及ぼす場合があります。

ステップ1では講義と演習を通じて、下記の3点を中心に、「**動きにくさのある児童生徒の学びやすさの工夫**」について一緒に考えていきましょう。

基本的なお話を中心です。肢体不自由校以外の先生方も、お気軽にご受講ください。

(*令和2年度の本講座と一部、講義内容が重なります。)



- ① 「動きにくさ」とは ~実際に体験してみよう~
- ② 動きにくさのある子どもの主な障害特性と学習上の困難について
- ③ 動きにくさのある子どもに対する学習上の手だて・配慮の工夫と留意点

講義で使用する資料等:

- ・資料は、Googleドライブに前日までにアップします(後日、URLをメールでお送りします)。
 適宜ダウンロードや印刷等をお願いします。

講義に必要な持ち物:

- ・演習で使用しますので、**メモ用紙と筆記用具**をご準備ください。



参考文献:

- ・肢体不自由のある子どもの教科指導Q&A(2008)筑波大学附属桐が丘特別支援学校 ジアース教育新社
- ・「わかる」授業のための手だて(2011)筑波大学附属桐が丘特別支援学校 ジアース教育新社
- ・授業を豊かにする筑波大附属特別支援学校の教材知恵袋【教科編】(2020)筑波大学特別支援教育連携推進グループ ジアース教育新社

| | | |
|------------------------|---|-------------------------|
| 肢体不自由の指導の実際 ／アセスメント | 筑波大学特別支援教育連携推進グループ 附属桐が丘特別支援学校 竹田 恵 | 8月23日(月) 15:00～16:00 |
|------------------------|---|-------------------------|

副題: 授業づくりに向けて～「子どもの実態をチームで把握する」プロセスの実際～

講義内容:

ステップ3では、ステップ1の内容に基づいて、授業づくりに必要となる「実態把握」のプロセスについて、カード整理法を活用しながらご紹介いたします。実際の事例を資料・映像で見てください、カード整理法の演習を行います。

(60分のオンライン講座のため、演習についてはカード整理法のうち、一部分となります。講義で全体の手順をお話いたします。)

肢体不自由のある子どもの実態について、教員間で整理しながら共有していくプロセスの実際を講義と演習で学ぶことにより、明日の授業を考える上での手がかりになればと思います。

(*令和2年度の本講座と一部、講義内容が重なります。)

講義で使用する資料等:

・資料は、Googleドライブにアップします(後日、URLをメールでお送りします)。

適宜ダウンロードや印刷等をお願いします。



講義に必要な持ち物:

・演習で使用しますので、「ふせん(色は自由です)」もしくは「メモ用紙」3枚ほど、ペンをご準備ください。

参考文献:

・授業を豊かにする筑波大附属特別支援学校の教材知恵袋【自立活動編】
(2021)筑波大学特別支援教育連携推進グループ ジアース教育新社



講座概要は以上です。宜しくお願いします。